

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

函南町の荒廃農地を再生

東部



函南町の認定農業者は令和2年度荒廃農地再生・集積促進事業を活用し、早々に荒廃農地の再生を行いました。

函南町においては初めての取組でしたが、迅速に荒廃農地31aを再生し、認定農業者により今後はハウレンソウやカボチャなどが栽培される予定です。

東部農林事務所と函南町では荒廃農地の再生と活用に向けた一層の取組を促進します。

東部農林事務所生産振興課 055-982-0847

「令和2年度優良建設工事等表彰式」を開催しました

富士

令和2年8月19日（水）、富士総合庁舎にて「令和2年度（令和元年度完成）優良建設工事等表彰式」を開催しました。

富士農林事務所の発注工事では、「優良工事部門」で佐野藤建設株式会社と、株式会社村松組が表彰されました。

近隣の民家や酪農など周辺環境への影響を考慮し、騒音・振動に注意して施工を行ったことや、現場管理・工程管理を丁寧に行い、通行規制・交通開放においても安全対策を十分に行ったことなどが評価されました。

当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出席者全員に検温やアルコール消毒、マスクの着用をしていただくとともに、3密に配慮して実施しました。



富士農林事務所農村整備課 0545-65-2201

人・農地プランの実質化について 管内4市と意見交換

志榛



令和2年8月3・4日両日、各市が工程表を公表している人・農地プランの実質化について、今後の取組を確認するため、管内4市を巡回して農業担当課と意見交換しました。

このうち、藤枝市は農業委員会が推進役となり現在5地区で地域の話合い等を進めており、その結果を人・農地プランとして取り纏めるほか、これを基に更なる調整を図ることとしています。島田市は、5つの公表箇所のうち、2カ所は基盤整備事業の計画書公表等を以て人・農地プランの実質化と見做すほか、残り3カ所は地図作成を進め、地域説明を以て、市検討会に掛ける旨を確認しました。

残り2市に關しても、今後の取組を共有できたことから、当所としては今後市が実施する業務を支援し、人・農地プランの実質化を図ります。

志太榛原農林事務所生産振興課 054-644-9214

浜松市が人・農地プラン話合いプレ会議 (東南ブロック)を開催しました

西部

令和2年8月24日(月)、浜松市が東区役所で、人・農地プラン話合いプレ会議(東南ブロック)を開催しました。

今回の会議は各地区の話合いの予行演習として実施され、参加者は、同市認定農業者協議会役員、農業委員、農地最適化推進委員、JA、公社で、市役所職員は資料説明、西部農林は司会を務めました。

意見交換では「水田の担い手不足が深刻」「毎月会合を開いているが、農地の担い手が現れない」「毎年30件以上耕作を頼まれて困っている」などの意見がうかがえました。

西部農林事務所では、引き続き人・農地プラン話合いの充実化、担い手への農地集積を推進していきます。



西部農林事務所生産振興課 053-458-7212

浜松市が人・農地プラン話合いプレ会議 (浜北ブロック) を開催しました

西部



令和2年8月26日（水）、浜松市が浜北区役所で、人・農地プラン話合いプレ会議（浜北ブロック）を開催しました。

今回の会議は各地区の話合いの予行演習として実施され、参加者は、同市認定農業者協議会役員、農業委員、農地最適化推進委員、JA、公社で、市役所職員は資料説明、西部農林は各テーブルの司会を務めました。

意見交換では「荒廃農地は畑が多く水田が少ない。畑は集約が必要。」「植木は農地交換が困難なのでこのような状態になっている」などの意見がうかがえました。

西部農林事務所では、引き続き人・農地プラン話合いの充実化、担い手への農地集積を推進していきます。

西部農林事務所生産振興課 053-458-7212

空気弁作動実演会を開催しました

西部

令和2年8月27日（木）、浜松総合庁舎駐車場において、空気弁作動実演会を開催しました。

角田鉄工株式会社を講師に招き、用水管工事で使用する空気弁や仕切弁の仕組みについて実機を使って勉強しました。

工事を担当する西部農林事務所職員だけでなく、維持管理を行う浜松土地改良区職員も参加し、総勢14名が維持管理の方法について意見交換することができました。

本実演会で学んだことを活かし、今後の円滑な業務遂行に役立てていきたいと思っております。



西部農林事務所農地整備課 053-458-7227